

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Cocotto ここと (放課後等デイサービス)		令和7年 4月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	2部屋を活用して大グループ、小グループ、個別を行っている	成長とともに狭くなる気がする
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	0	多めに配置しており十分な療育が行えるよう配慮している	支援校児を積極的に受け入れたいが、適切人員以上多めのスタッフを配置しないと十分な療育が行えない。しかし人件費の問題もあるので悩ましい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	階段だが横幅もあり、しっかりとした手すりが設置されている。昇降時には必ず職員が付きそう	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	清掃と消毒は毎日必須としている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	小活動室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	タ礼時に毎日行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	ホームページに公表している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	タ礼時に議題に上がったり、定期ミーティングで意見交換し、業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1		外部評価の機会は多くないと感じている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	2025年3月よりオンライン研修もスタートしている。研修は積極的に参加するよう代表が促し、必要な研修は参加者を募っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	ホームページやInstagramで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	ひとりひとり時間をかけてアセスメントをしっかりと行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	計画書下書きの時点で職員間で共有し、都度検討を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	経過観察表を利用終了後に必ず記入し、計画に沿った支援の結果どうであったかを記入している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	リタリコツールを使用することがある	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	個々に応じた具体的な支援内容が設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員が交代でリーダーになりプログラムを共有しチームとして療育に当たっている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	色々な職員が活動を担当し少しずつレベルを上げるなどのアレンジを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	個別は小活動室でコンスタントに行っている活動という名目ではないが、自由時間中にも個別に対応することもある	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	朝礼時に必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	夕礼時に振り返りを行い、次の療育に繋げている。早帰りのパートさんは参加出来ないの で、共有ノートを作っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	連絡帳や経過観察記録を毎日記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	計画の見直しが必要と判断した場合は見直しを行い、達成していないと判断した場合は継続したり、別方面からのアプローチで変更	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0	総合的な支援が行えるよう活動や計画を立てている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	楽器の選択、マイソングをみつけるなど活動中や自由時間などにも自己決定の場を多く持っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	児童発達支援管理責任者があたっている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	個々の主治医を把握し、施設としての協力医療機関の情報を玄関に掲示している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	年間予定を出欠表提出時に一緒にいれてくれるご家庭がある 送迎時は添乗員が携帯を持ちトラブル発生時に適切に対応している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0	電話で共有をし、該当児の情報を共有した上で職員間にも共有している 児発管が挨拶に回り情報交換を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	12		高校2年生までしか未だ利用が無い
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	0	場合によってはセンターと電話で連携を図ることもある	忙しいと時間を十分取って貰えない事や門前払いも多い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	こども文化センターの活動を設定している お祭りにも積極的に参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	0	招集があると、経営者が赴いている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	連絡帳や送迎時に常に連絡を取り合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	必要と思われるものは情報提供を行っている	仕事をしている親御様が多く参加できるご家庭が殆どない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	契約時や面談時に児発管が行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	都度同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	送迎時や連絡帳を使いお子さま、家庭内、お母様のメンタル等の相談に乗っている。職員に共有し話し合う事もある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	0	年に一度保護者会を開催している	お忙しい親御様が多く、なかなか人数が集まらない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	疑問点などの問い合わせは当日中に完結するよう対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	Instagramやブログ、ホームページで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	十分に配慮している。小さなミスでも共有しヒヤリハットに上げている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	ハンドサイン、ジェスチャー、表情などでこどもの意思を理解しようと配慮している 成功した事に対しては職員間で共有している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	招待はないが、ハロウィンでは毎年近所のお店を回って地域の方と交流している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	訓練は定期的を実施し、いつでも誰でも閲覧できるようになっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	BCPを策定し必要な訓練を各曜日で定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	契約時にお伺いし、個別ファイルに記してある。必要と思われる情報は職員が目につく場所に掲示してある	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	食物アレルギー児は現在いない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	定期的に訓練を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	連絡帳や送迎時に伝えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	夕礼時に共有しヒヤリハットを記入。再発防止について話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	虐待防止身体拘束等適正化委員会を定期的に開催し、意見交換や動画研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	夕礼時やミーティング時に話し合い共通認識を持っている。身体拘束になりうる児はいない	